

## 危険予知トレーニング (KYT)

「危険予知トレーニング」とは、交通安全教育において事故防止効果のある手法とされており、道路交通に潜む危険を事前に予測し、適切に対応することにより交通事故を未然に防止しようとするものです。

具体的には、図や映像をもとにグループを作り意見交換・発表などを行い自身の日々の運転に反映させるトレーニングです。当社でも行っている取り組みの一環です。

右図を見て皆さんならどんな危険に気づきどんな運転をしますか？

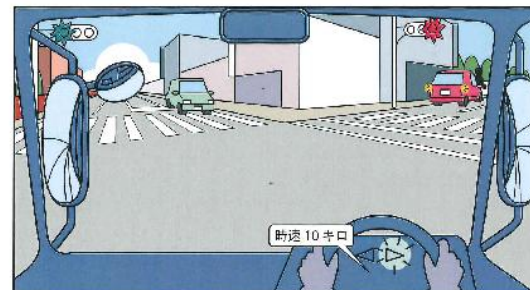
夏もいよいよ本番、夏休み・お盆とあって普段より交通量・歩行者なども増える時期です。

何気なく運転している、いつもの道路・路地にも危険がいっぱいです。。今一度ご自身の運転の見直しをしてみてもいいかがでしょうか？

異例の暑さが続いています。車内でも熱中症になる暑さです。エアコンの温度調整や水分補給を行い、楽しい夏にしましょう！！

〔トラック1〕 交差点の右折

交通場面の状況等	
<ul style="list-style-type: none"><li>・信号機のある交差点を右折しようとしている。</li><li>・対向直進車が接近している。</li><li>・右折先の道路に駐車車両があり、歩行者の影が見える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・制限速度：時速60キロ</li><li>・路面：乾燥</li><li>・天候：晴</li><li>・稼働状況：4トン車</li><li>・運転者：年齢48歳</li><li>・運転経験：17年</li></ul>



どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか